



くまがいSDGs研究推進事業



# 環境中から新規遺伝子の獲得を目指した 高効率DNA均一化法の開発

熊本大学環境安全センター

(工学部材料・応用化学科 兼任)  
(大学院自然科学教育部 兼任)

山口佳宏 准教授

環境中には微生物由来の多種多様な遺伝子が含まれているはずであるが、優占種由来の微生物の遺伝子が効率よく抽出されている。そこで環境中から希少種由来の微生物遺伝子を獲得するために、優占種遺伝子と希少遺伝子の比率を均等にする均一化法を改良し、新規遺伝子の探索技術を発展させる。本研究は、酵素の産業利用を加速させる技術が提供でき、日本において生物資源の加速的な発掘が可能となる技術になる。

